

韓国薬学研修報告

4年 14A042

恩田 了綺

はじめに

平成29年8月23～26日の4日間、私は韓国研修に参加した。おもな目的として製薬会社、薬局、漢陽大学薬学部、漢陽大学病院、韓方市場の見学、漢陽大学生との交流、韓国文化体験である。私はおもに薬局見学について報告する。



薬局見学

韓国の薬局は、約800～1000種類の薬が置いてあった。

この機械は、錠剤を一包化するもので、それぞれの場所に錠剤がそのまま入れられていた。パソコンからの処方データを受信し、自動で一錠ずつ出すことが出来る。日本の調剤薬局ではあまり見られないが、韓国で訪問した三つの薬局全てに設置しており、驚いた。



韓国の薬局で働く薬剤師は、以前は白衣を着なくては行けなかったが、現在では規則が変わり名札を付ければどんな服装でも良くなったようだ。また、韓国の薬局での調剤は一包化することが多く、ほとんどPTPシートを用いないようだ。



韓国は、マツモトキヨシや、スギ薬局といったいわゆるチェーン薬局はほとんど無く、多くが個人で経営している。そのため、利益も大きく、韓国で薬剤師として働く際は病院より給料的には良さそうだ。

驚いたことに、韓国の一部の薬剤師は二週間に一度の休みしかないそうだ。週休二日の日本と比べると、とても勤労である。

最近では地域活動にも力を入れており、若者の薬物乱用防止活動などを行っていると教えていただいた。



龍角散が置いてあった



薬局売上 1 位の Bacchus D



見覚えのある薬がちらほら見られる



感想

今回の韓国研修で、日本ではない異国の薬剤師の職場の観察、薬学部生との交流といった普段経験できない貴重な機会をいただき、直接肌で感じる事ができた。この経験を今後の学生生活に生かしていけるよう努めていきたい。